

2026 年度 医療科学部 IR 報告書

— 2025 年度 卒業生を対象とした
ディプロマ・ポリシー到達度調査（学生自己評価） —



藤田医科大学 | R推進センター
医療科学部 | R分室

2026 年 6 月 2 日

藤田医科大学 I R 推進センター
医療科学部 IR 分室

2026 年度 医療科学部 I R 報告書

2025 年度 卒業生を対象とした
ディプロマ・ポリシー到達度調査（学生自己評価）

2026 年度 医療科学部 IR 報告書

「2025 年度 卒業生を対象とした ディプロマ・ポリシー到達度調査（学生自己評価）」について

本学の教育目標を達成するため、教育および学生支援に関する諸データの統合分析と情報提供等を行い、本学の教育活動の充実発展に寄与することを目的として、藤田医科大学 I R（Institutional Research）推進センターが設置されています。今回、下部組織の医療科学部 I R 分室では、2025 年度の医療科学部の卒業生を対象とした医療科学部および各学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度に関する自己評価アンケートを行いましたので、その集計・分析結果について報告いたします。

2026 年 6 月 2 日

2026 年度 藤田医科大学 I R 推進センター 医療科学部 I R 分室

武藤晃一、古関竹直、坪井良樹、國友博史、岩井芳弘、島向健太、
永盛姫海

目 次

1. 分析結果の概要	1
2. ディプロマ・ポリシーについて	2
2-1) 学部ディプロマ・ポリシー	2
2-2) 学科ディプロマ・ポリシー	2
3. 学部ディプロマ・ポリシーの到達度	4
3-1) アンケート調査方法	4
3-2) 調査概要、調査結果および到達度の分析	5
3-2-1) 学部全体としての分析	8
3-2-2) 学科間の比較	8
3-3) 各学科の調査結果および到達度の分析	11
3-3-1) 医療検査学科	11
3-3-2) 放射線学科	13
4. 学科ディプロマ・ポリシーの到達度	15
4-1) アンケート調査方法	15
4-2) 各学科の調査概要、調査結果および到達度の分析	15
4-2-1) 医療検査学科	15
4-2-2) 放射線学科	19

1. 分析結果の概要

本学の教育のさらなる質の向上をめざし、学生が実感している学修の到達度を明らかにすることを目的として、2025 年度卒業生を対象に医療科学部ディプロマ・ポリシーおよび所属する各学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度について、自己評価アンケート調査を行い、集計・分析を行った。

医療科学部ディプロマ・ポリシーに対する到達度の自己評価は、学部全体の集計結果では、全ての DP 項目について中央値が「5：概ね修得できた」となった。学科間で比較すると、自己評価の中央値は全ての DP 項目で「5：概ね修得できた」と同一であったが、平均値は放射線学科に比べて医療検査学科で全ての DP 項目について高い値を示した。

各学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度の自己評価については、医療検査学科では全ての DP 項目の中央値が「5：概ね修得できた」となった。DP1～DP7 の平均値について、DP5（倫理責任）が 5.07 と最も高く、DP7（創造力）が 4.91 と最も低かった。また「5：概ね修得できた」以上と回答した学生は DP1～DP6 で 80%を上回ったが、DP7（創造力）は約 77%と 80%を下回った。

放射線学科においても全ての DP 項目の中央値が「5：概ね修得できた」となった。DP1～DP7 の平均値について、DP5（倫理責任）と DP6（社会貢献）が 4.70 と最も高く、DP1（専門知識）が 4.48 と最も低かった。「5：概ね修得できた」以上と回答した学生は DP3～DP7 で 60%以上を上回ったが、DP1（専門知識）、DP2（課題解決）はそれぞれ約 57%、約 55%と 60%を下回った。

なお、医療科学部は 2022 年度入学（2026 年 3 月卒業）の学生から新しいポリシーが適用され、今年度は昨年度以前のディプロマ・ポリシーと内容・項目数が異なる。そのため、今年度は昨年度までとの比較・考察は行っていない。また、例年実施をしている過去 5 年間の経年的な傾向分析は実施しない。

2. ディプロマ・ポリシーについて

ディプロマ・ポリシー (Diploma Policy) とは、高等教育機関における卒業認定・学位授与に関する方針である。

藤田医科大学では学部レベルと学科レベルにて、学生が卒業する時に最低限身につけていべき知識・理解・思考・判断・興味・関心・態度・技能・表現について具体的にまとめ、これをディプロマ・ポリシーとして設定し、公表している。ディプロマ・ポリシーは、本学の教育に関する質保証に資するために策定される。

2-1) 学部ディプロマ・ポリシー

医療科学部では、学部レベルのディプロマ・ポリシーを策定している。2025 年度卒業生に対する学部ディプロマ・ポリシーについて表 2-1 に示す。

表 2-1. 医療科学部ディプロマ・ポリシー

医療科学部は、本学の建学の理念および学部・学科が掲げる人材の養成に関する目的に基づき、各学科で所定の課程を修め、以下に示す 5 つの力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(課題を解決する力)

- 1) 幅広い教養ならびにそれぞれの専門分野の基本的な知識と技術をもち、それを論理的に活用するために管理し、正確な情報を読み解き課題を解決する力を身につけている。

(連携する力)

- 2) 医療に関係する専門職の担い手やその恩恵に預かる人々すべてを尊重して、お互いが手を取り合い、良き医療を実践するための基本的能力を身につけている。

(自律して達成する力)

- 3) 倫理観をもっておおらかで他者を慈しみ、目的のために自身を評価・判断して行動できる能力を身につけている。

(社会に貢献する力)

- 4) 社会の一員として自らの役割を認識し、そこに住まう人々が健康と医療に満足できるように使命感をもって行動し、多様な社会に貢献する能力を身につけている。

(創造する力)

- 5) 多面的に観察・分析することにより新たな問題を発見し、それらを解決するために科学的な探究と創造的な取り組みができる能力を身につけている。
-

2-2) 学科ディプロマ・ポリシー

医療科学部の各学科においてもディプロマ・ポリシーを設定し、教育の質保証に努めている。医療科学部の医療検査学科のディプロマ・ポリシーを表 2-2、放射線学科を表 2-3 に示す。

表 2－2. 医療検査学科ディプロマ・ポリシー

医療検査学科では、医療科学部のディプロマ・ポリシーに基づき、以下に示す5つの力を身につけた者に『学士（医療検査科学）』の学位を授与する。

（課題を解決する力）

- 1) 幅広い教養ならびに臨床検査学あるいは臨床工学の専門的な知識・技術を身につけている。
- 2) 課題を発見し、科学的根拠に基づいた思考と判断により解決に向けて取り組むことができる。

（連携する力）

- 3) 医療プロフェッショナルのあり方や役割を理解し、多職種連携を実践することができる。
- 4) 社会におけるチームの一員として相互理解に努めることができる。

（自律して達成する力）

- 5) 健康・医療に関わる者として生命の尊さを認識し、倫理観と責任感をもって自らの役割を果たすことができる。

（社会に貢献する力）

- 6) 健康・医療・生命科学の学びを総合的に活用して多様な社会の課題に取り組むことができる。

（創造する力）

- 7) ものごとを自由な発想でとらえて科学的な探究と創造的な取り組みができる。
-

表 2－3. 放射線学科ディプロマ・ポリシー

放射線学科では、医療科学部のディプロマ・ポリシーに基づき、以下に示す5つの力を身につけた者に『学士（診療放射線技術学）』の学位を授与する。

（課題を解決する力）

- 1) 幅広い教養ならびに放射線技術学に関する基礎的および専門的な知識・技術を身につけている。
- 2) 課題を発見し、科学的根拠に基づいた論理的な思考と判断により解決に向けて取り組むことができる。

（連携する力）

- 3) 医療プロフェッショナルのあり方や役割を理解し、多職種連携を実践することができる。
- 4) 社会におけるチームの一員として相互理解に努めることができる。

（自律して達成する力）

- 5) 健康・医療に関わる者として生命の尊さを認識し、倫理観と責任感をもって自らの役割を果たすことができる。

（社会に貢献する力）

- 6) 健康・医療・生命科学の学びを総合的に活用して多様な社会の課題に取り組むことができる。

（創造する力）

- 7) ものごとを自由な発想でとらえて科学的な探究と創造的な取り組みができる。
-

3. 学部ディプロマ・ポリシーの到達度

3-1) アンケート調査方法

医療科学部の2025年度4年生を対象として、医療科学部ディプロマ・ポリシーに対する到達度を、学生自身に評価させるアンケート調査を実施した。アンケート調査は「医療科学部・保健衛生学部 Moodle」の「アンケート」機能により実施し、医療科学部ディプロマ・ポリシーの各項目（計5項目）を設問として、それに対する自らの到達度を6段階で自己評価させた。

アンケート調査は、2025年度4年生が卒業する前の2026年1～2月中に各学科の事情に合わせ、学生に対して Moodle での入力を促した。

アンケート調査項目である医療科学部ディプロマ・ポリシーを表3-1、達成度の6段階の評定尺度を表3-2に示す。

表3-1. アンケート調査の設問項目：医療科学部ディプロマ・ポリシー

DP1 (知識解決)	幅広い教養ならびにそれぞれの専門分野の基本的な知識と技術をもち、それを論理的に活用するために管理し、正確な情報を読み解き課題を解決する力が身につきましたか。
DP2 (連携力)	医療に関係する専門職の担い手やその恩恵に預かる人々すべてを尊重して、お互いが手を取り合い、良き医療を実践するための基本的能力が身につきましたか。
DP3 (倫理自律)	倫理観をもっておおらかで他者を慈しみ、目的のために自身を評価・判断して行動できる能力が身につきましたか。
DP4 (社会貢献)	社会の一員として自らの役割を認識し、そこに住まう人々が健康と医療に満足できるように使命感をもって行動し、多様な社会に貢献する能力が身につきましたか。
DP5 (探究創造)	多面的に観察・分析することにより新たな問題を発見し、それらを解決するために科学的な探究と創造的な取り組みができる能力が身につきましたか。

表3-2. アンケート調査に用いた到達度の評定尺度（6段階）

6：完全に修得できた
5：概ね修得できた
4：最低水準は修得できた
3：ある程度修得したが、最低水準には届かない
2：十分に修得できていない
1：全く修得できていない

3-2) 調査概要、調査結果および到達度の分析

2025 年度医療科学部 4 年生を対象とした医療科学部ディプロマ・ポリシーに対する到達度の自己評価について、アンケート調査（卒業生 215 名中 215 件：回収率 100%）の回答の度数分布を表 3-3 に示す。学部全体としての各設問に対する評価尺度毎の回答結果のヒストグラムを図 3-1 に示す。各設問に対する回答の割合を図 3-2 に示す。

表 3-3. 医療科学部ディプロマ・ポリシー到達度自己評価アンケート結果
度数分布

DP1 (知識解決)				DP4 (社会貢献)			
学部	検査	放射		学部	検査	放射	
6	20	13	7	6	32	22	10
5	135	88	47	5	127	82	45
4	49	27	22	4	44	22	22
3	8	2	6	3	9	4	5
2	2	2	0	2	3	2	1
1	1	0	1	1	0	0	0

DP2 (連携力)				DP5 (探究創造)			
学部	検査	放射		学部	検査	放射	
6	31	24	7	6	26	19	7
5	133	83	50	5	135	84	51
4	38	20	18	4	44	25	19
3	9	3	6	3	5	1	4
2	3	2	1	2	5	3	2
1	1	0	1	1	0	0	0

DP3 (倫理自律)			
学部	検査	放射	
6	32	25	7
5	134	84	50
4	38	19	19
3	6	2	4
2	4	2	2
1	1	0	1

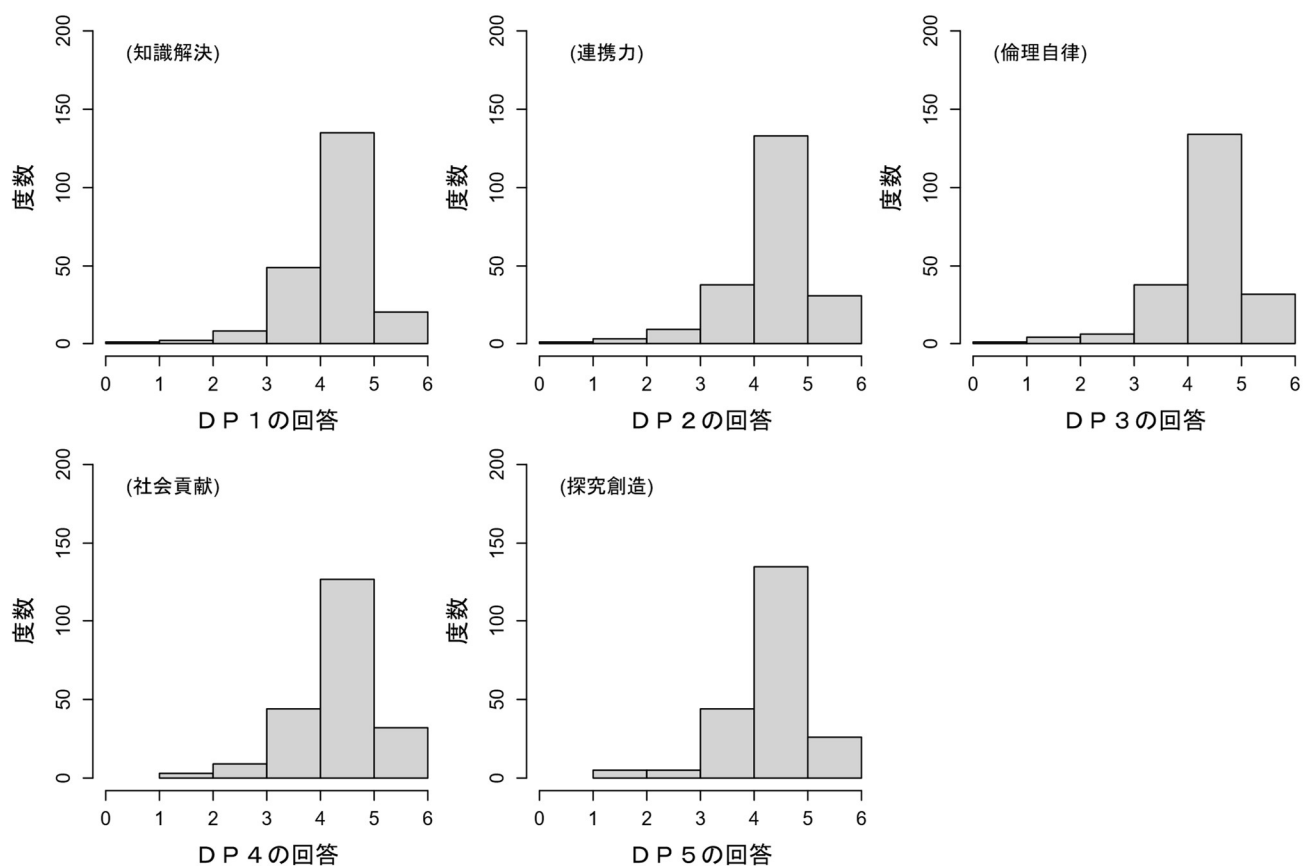


図 3－1．医療科学部ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 学部全体の回答分布

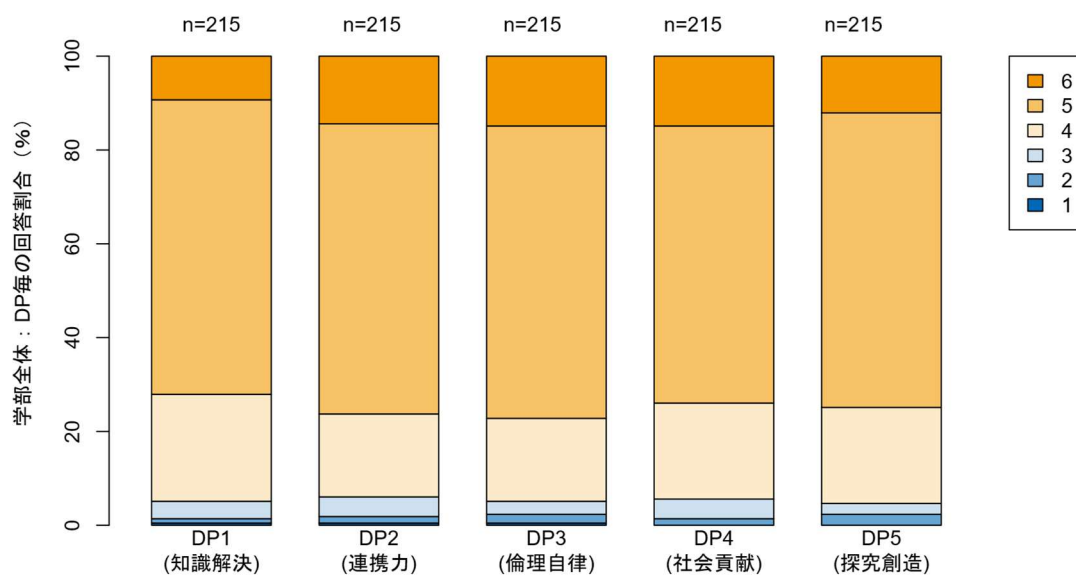


図 3－2．医療科学部ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 設問毎の回答割合

アンケート回答結果について、簡便に6段階の評定尺度を等間隔の間隔尺度とみなし比較を行う。回答結果について、学部全体および学科ごとの平均値、標本標準偏差、中央値、最大値、最小値を表3-4に示す。各ディプロマ・ポリシー項目（以下、DP1～DP5）について、学部全体の回答の平均値をレーダーチャートとして図3-3に示す。

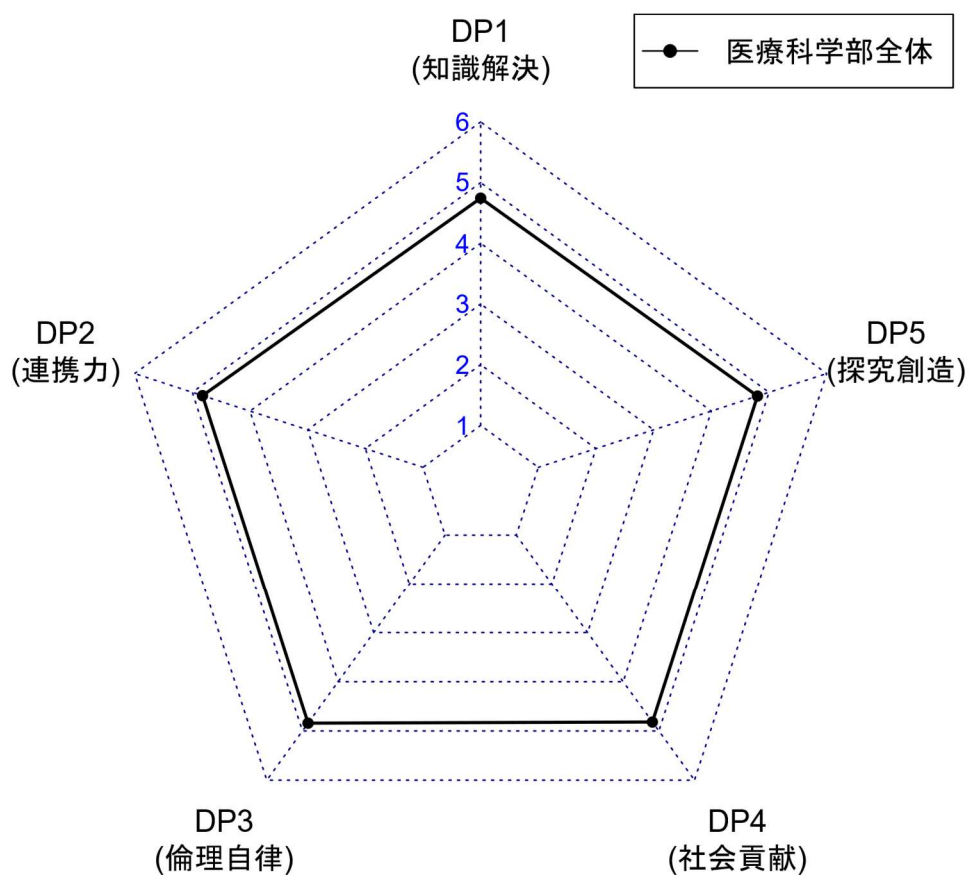


図3-3. 医療科学部ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 評定値の平均値

表 3－4. 医療科学部ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 基本統計量

DP1 (知識解決)				DP4 (社会貢献)			
学部	検査	放射		学部	検査	放射	
平均値	4.74	4.82	4.63	平均値	4.82	4.89	4.70
標本SD	0.75	0.68	0.83	標本SD	0.78	0.76	0.80
中央値	5	5	5	中央値	5	5	5
最大値	6	6	6	最大値	6	6	6
最小値	1	2	1	最小値	2	2	2
n	215	132	83	n	215	132	83

DP2 (連携力)				DP5 (探究創造)			
学部	検査	放射		学部	検査	放射	
平均値	4.82	4.94	4.64	平均値	4.80	4.87	4.69
標本SD	0.81	0.75	0.87	標本SD	0.77	0.74	0.79
中央値	5	5	5	中央値	5	5	5
最大値	6	6	6	最大値	6	6	6
最小値	1	2	1	最小値	2	2	2
n	215	132	83	n	215	132	83

DP3 (倫理自律)			
学部	検査	放射	
平均値	4.84	4.97	4.64
標本SD	0.81	0.73	0.89
中央値	5	5	5
最大値	6	6	6
最小値	1	2	1
n	215	132	83

3－2－1) 学部全体としての分析

2025 年度 4 年生の医療科学部ディプロマ・ポリシーに対する到達度の自己評価の平均値は 5 項目でほぼ等しく、DP1 (知識解決) の 4.74 ± 0.75 から、DP3 (倫理自律) の 4.84 ± 0.81 の範囲となった。中央値は 5 項目全てで「5 : 概ね修得できた」となった。到達度の自己評価が「2 : 十分に修得できていない」以下の回答は全回答中の 1.86% (20/1,075 件) と少数であり、「4 : 最低水準は修得できた」以上の回答は全回答中の 94.7% (1,018/1,075 件) と、卒業時の到達点として定めたディプロマ・ポリシーについて「最低水準は修得できた」以上と自己評価する学生が大多数を占めた。

3－2－2) 学科間の比較

医療科学部ディプロマ・ポリシーの 5 項目について、項目ごとに回答された評定値の割合を学科間で比較したグラフを図 3－4 に示す。

DP1～DP5 における回答された評定値は、2 学科の間ではほぼ同様の割合を示したが、医療

検査学科の方が「6：完全に修得できた」を回答する学生が多く、「3：ある程度修得したが、最低水準には届かない」以下を回答する学生は少ない傾向を示した。

医療科学部ディプロマ・ポリシーのDP1 項から DP5 項目について、学科間で回答された評定値の平均値を比較するグラフを図 3－5 に示す。

評定値の平均値は、すべての DP 項目において放射線学科より医療検査学科の学生の方が若干高い傾向を示した。

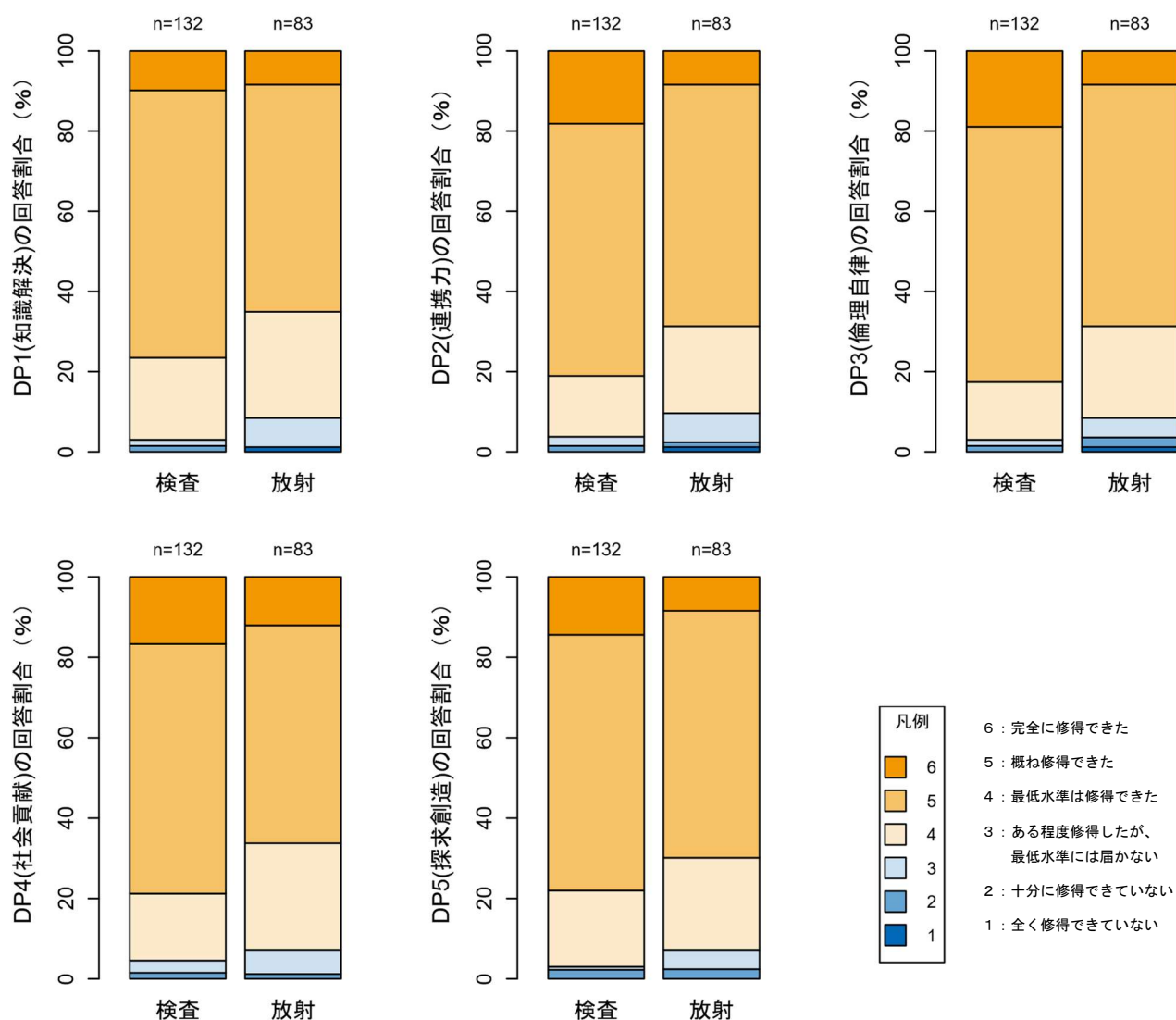


図 3－4. 医療科学部ディプロマ・ポリシー自己評価 回答割合の学科間比較（割合％）

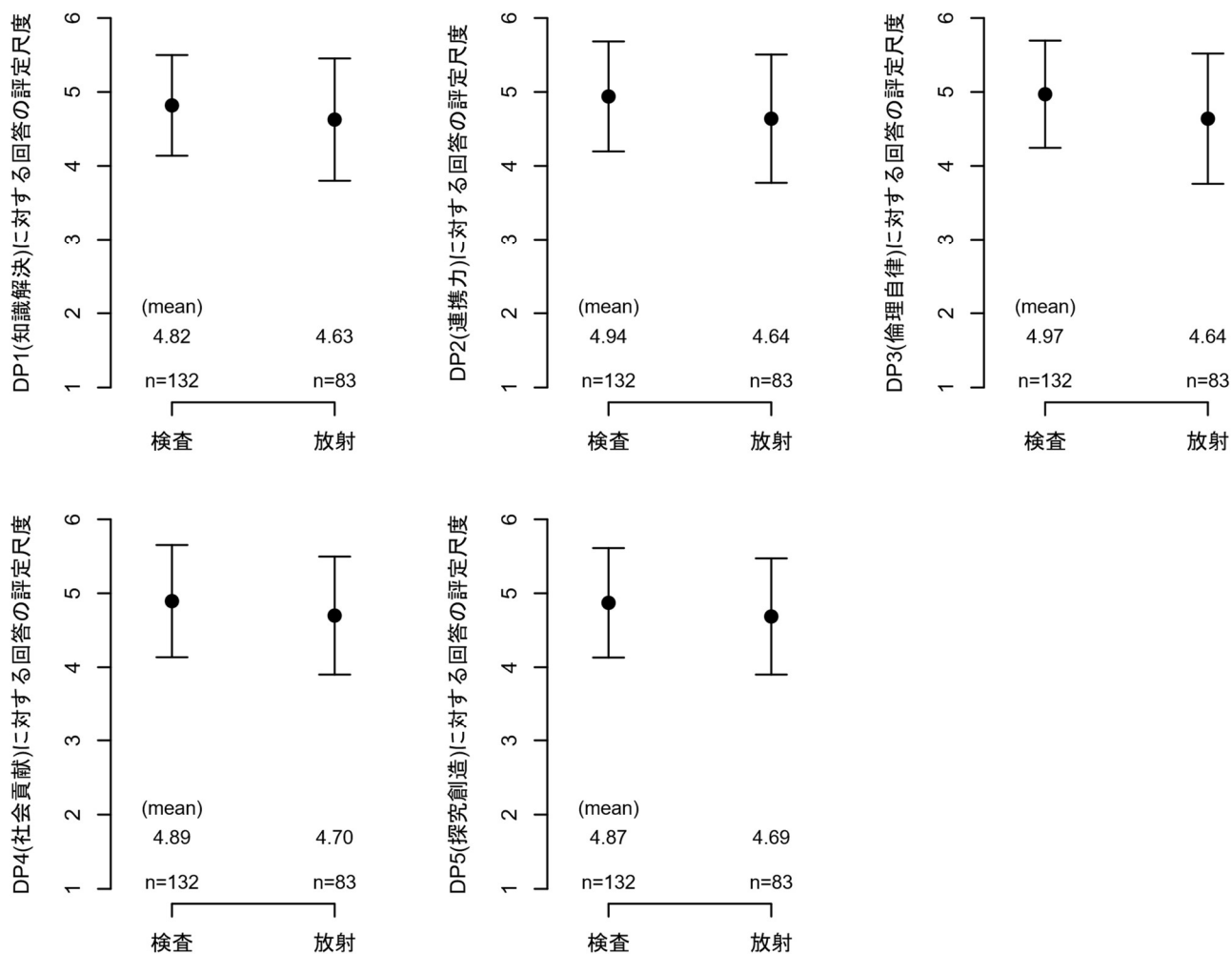


図 3－5. DP に対する回答の平均値の学科間比較

3-3) 各学科の調査結果および到達度の分析

医療科学部ディプロマ・ポリシーの5項目について、学科ごとに調査結果の概要と到達度の分析を示す。

3-3-1) 医療検査学科

アンケート調査の DP1～DP5 に対する回答結果（卒業生 132 名中 132 件：回収率 100%）のヒストグラムを図 3-6、DP 項目毎の回答割合を図 3-7 に示す。DP1～DP5 について、学部全体の回答の平均値と医療検査学科の回答の平均値を比較するレーダーチャートを図 3-8 に示す。

全ての DP 項目で学部平均より検査平均が上回っていた（学部平均値との差:0.07～0.13、平均:0.094）。学部平均値との差が最も差が大きかった DP 項目は DP3（倫理自律）で、学部平均より 0.13 高い値であった。

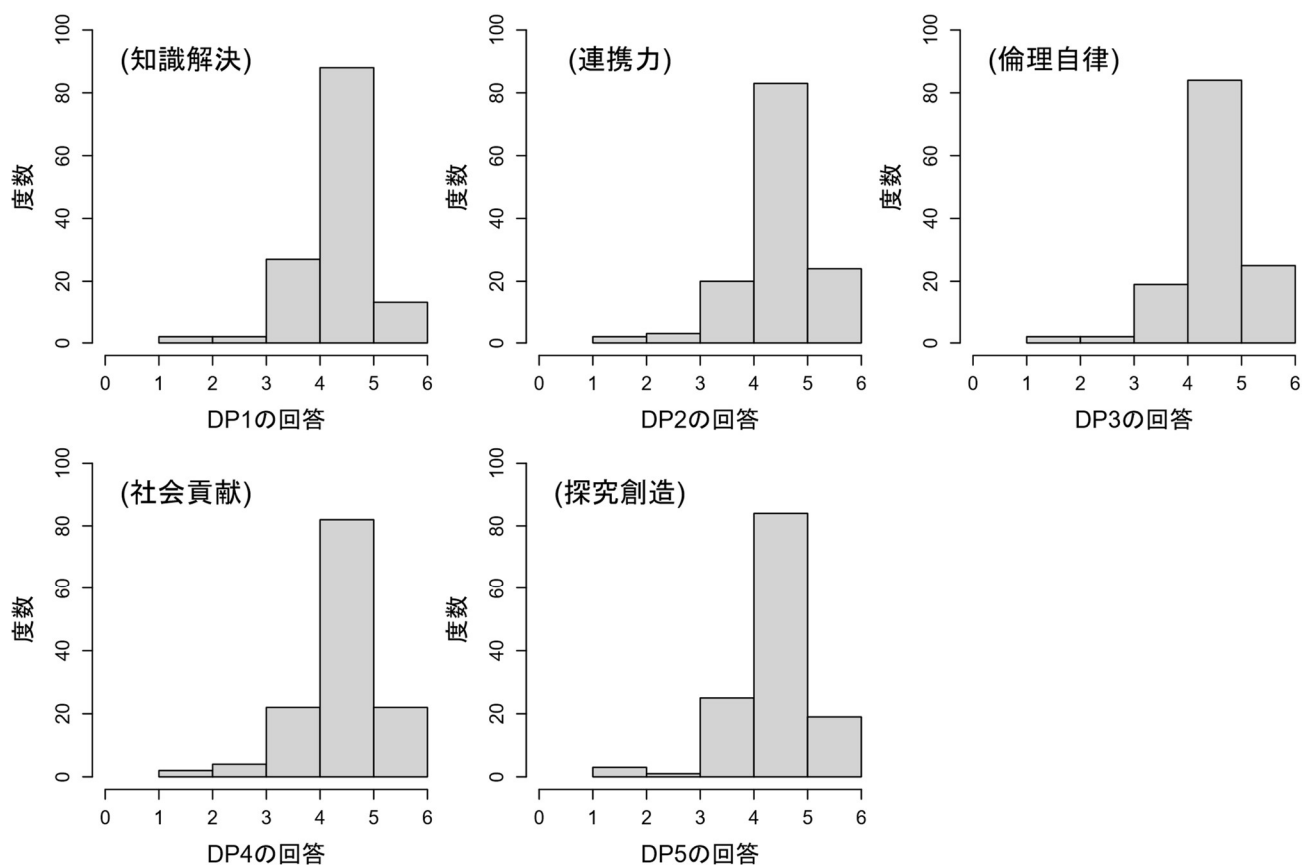


図 3-6. 医療検査学科の回答分布

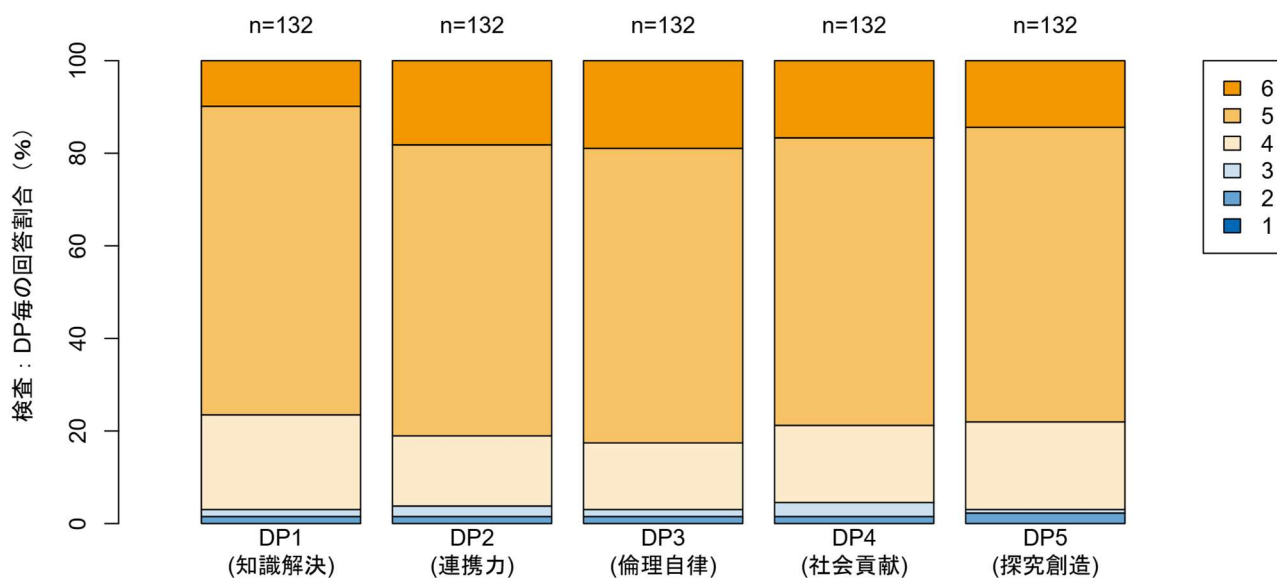


図 3－7. 医療検査学科の医療科学ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果
設問毎の回答割合

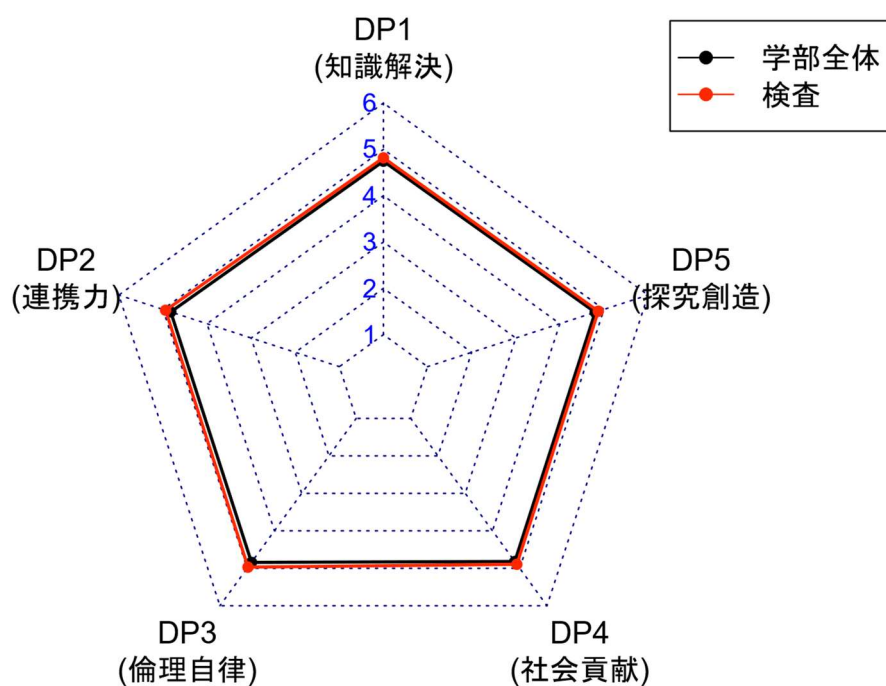


図 3－8. 回答結果の医療検査学科と学部全体との比較（平均値）

3-3-2) 放射線学科

アンケート調査のDP1～DP5に対する回答結果（卒業生 83 名中 83 件：回収率 100%）のヒストグラムを図 3-9、DP 項目毎の回答割合を図 3-10 に示す。DP1～DP5 について、学部全体の回答の平均値と放射線学科の回答の平均値を比較するレーダーチャートを図 3-11 に示す。

全ての DP 項目で評定値の平均は学部全体とほぼ同程度であるが、全ての DP 項目において学部平均値を下回る結果となった（学部平均値との差：-0.11～-0.20）。DP4（社会貢献）は、0.12 下回った（学部：4.82、放射線：4.70）。学部平均値との差が最も大きかった DP 項目は DP3（倫理自律）であり、0.20 低い値となった（学部：4.84、放射線：4.64）。

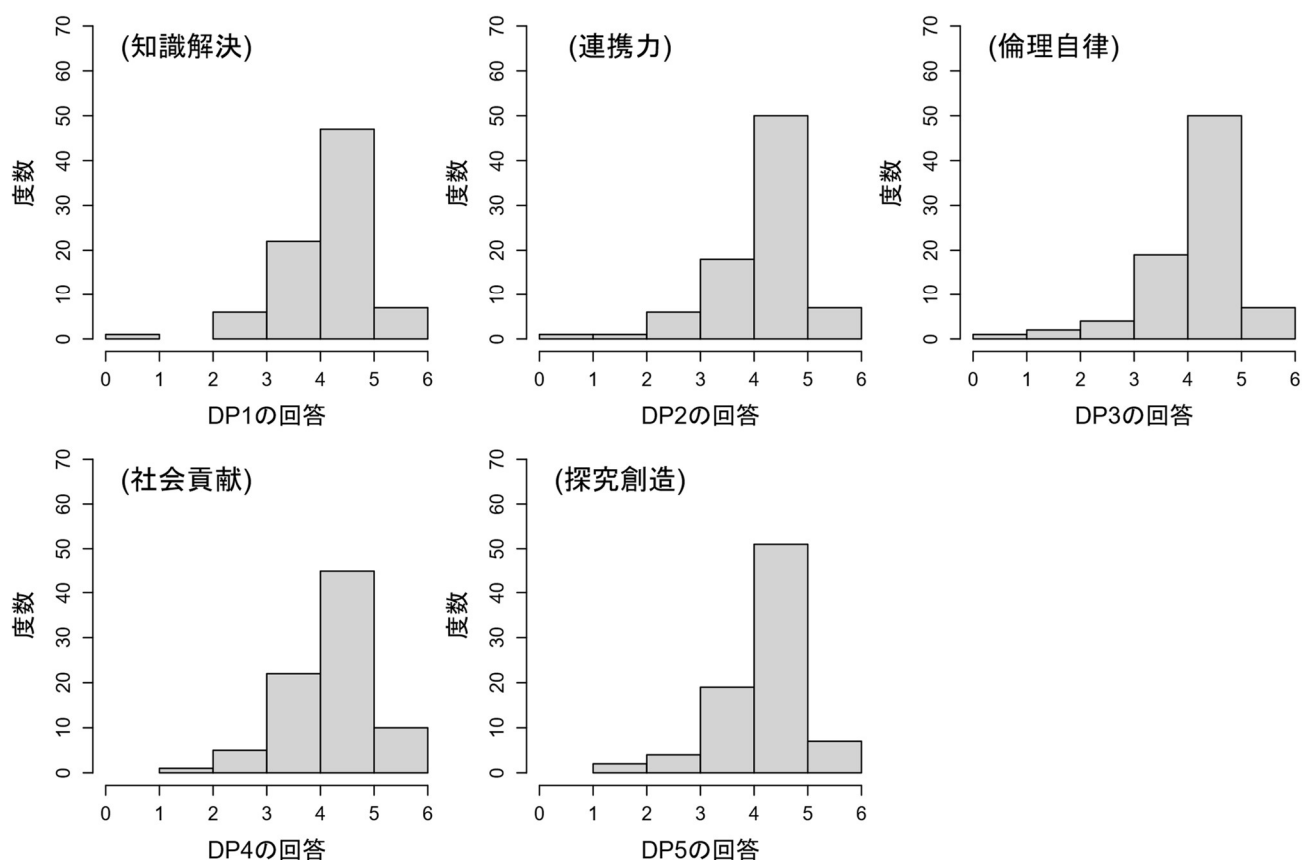


図 3-9. 放射線学科の回答分布

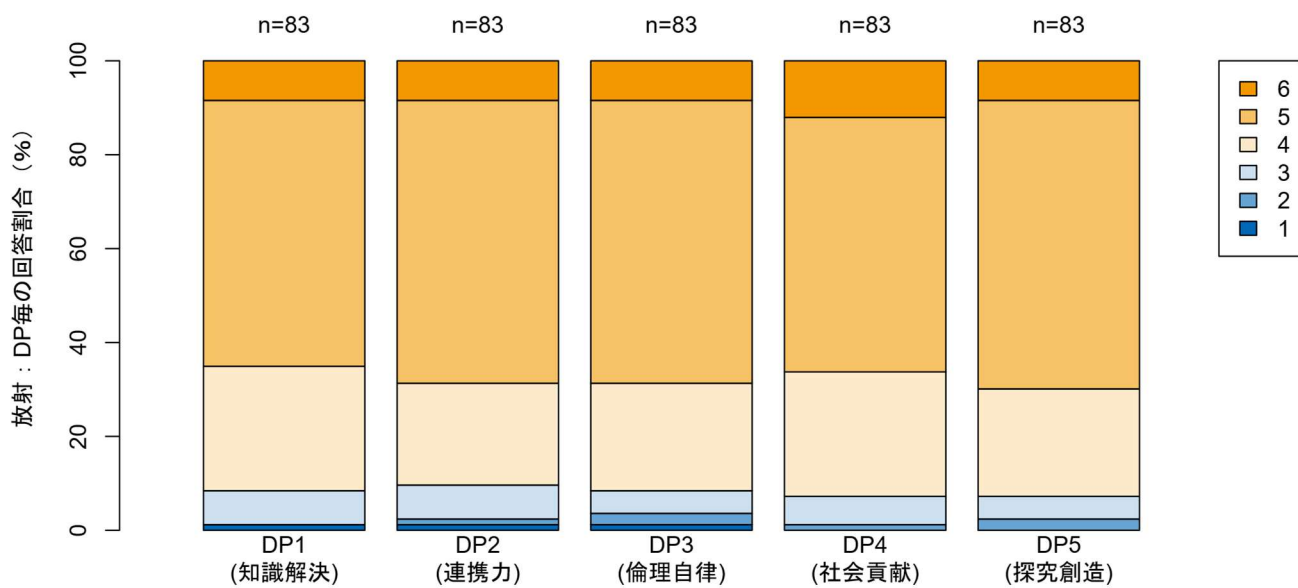


図 3－10. 放射線学科の医療科学部ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果
DP 毎の回答割合

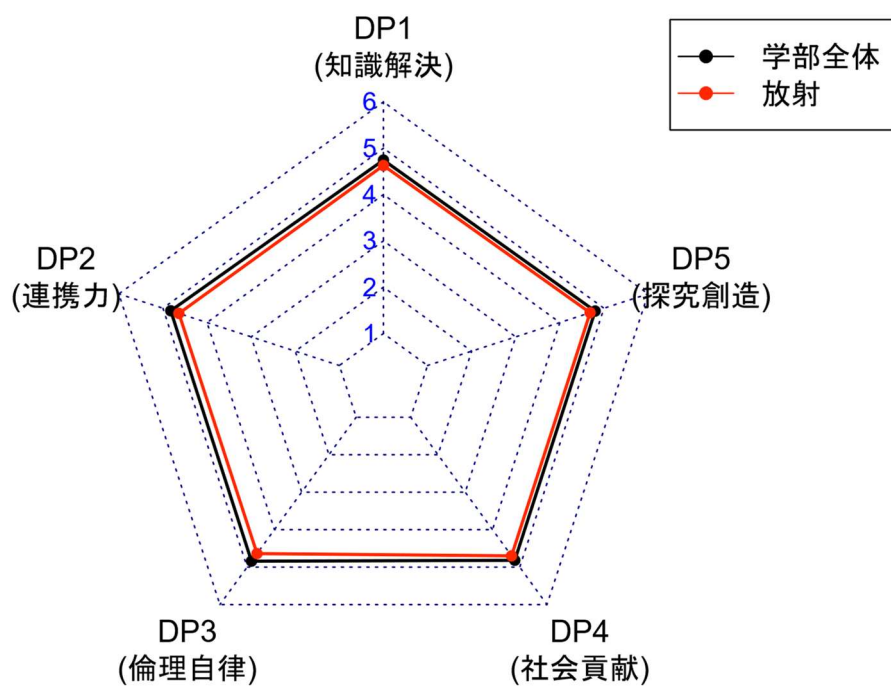


図 3－11. 回答結果の放射線学科と学部全体との比較（平均値）

4. 学科ディプロマ・ポリシーの到達度

4-1) アンケート調査方法

医療科学部の 2025 年度 4 年生を対象として、各学科のディプロマ・ポリシーに対する到達度を、学生自身に評価させるアンケート調査を実施した。アンケート調査は「医療科学部・保健衛生学部 Moodle」の「アンケート」機能により実施し、医療科学部ディプロマ・ポリシーの各項目（計 7 項目）を設問として、それに対する自らの到達度を 6 段階で自己評価させた。達成度の 6 段階の評定尺度を表 4-1 に示す。

表 4-1. アンケート調査に用いた到達度の評定尺度（6 段階）

6 : 完全に修得できた
5 : 概ね修得できた
4 : 最低水準は修得できた
3 : ある程度修得したが、最低水準には届かない
2 : 十分に修得できていない
1 : 全く修得できていない

アンケート調査は、2025 年度 4 年生が卒業する前の 2026 年 1 ～ 2 月中に各学科の事情に合わせ、学生に対して Moodle での入力を促した。

4-2) 各学科の調査概要、調査結果および到達度の分析

4-2-1) 医療検査学科

アンケート調査項目（医療検査学科ディプロマ・ポリシー）を表 4-2 に示す。

2025 年度医療検査学科 4 年生を対象とした医療検査学科ディプロマ・ポリシーに対する到達度の自己評価について、DP1～DP7 に対する評定尺度毎の回答結果（卒業生 132 名中 132 件：回収率 100%）のヒストグラムを図 4-1 に示す。各 DP に対する回答の割合を図 4-2 に示す。

アンケート回答結果について、簡便に 6 段階の評定尺度を等間隔の間隔尺度とみなし比較を行った。回答結果について、DP ごとの平均値、標本標準偏差、中央値、最大値、最小値を表 4-3 に示す。DP1～DP7 について、回答された評定値の平均値をレーダーチャートとして図 4-3 に示す。

2025 年度の医療検査学科 4 年生の医療検査学科ディプロマ・ポリシーに対する自己評価は、DP5（倫理責任）の平均値が最も高く、DP7（創造力）が最も低かった。一方、DP1～DP7 のいずれも評定値の平均値は「4 : 最低水準は修得できた」以上の回答が得られた。中央値は、DP1～DP7 のいずれも評価項目で「5 : 概ね修得できた」であり、DP1～DP7 は 80% の学生が「5 : 概ね修得できた」以上と回答した一方で、DP7（創造力）は約 77% と 80% を下回った。

表 4－2. アンケート調査の DP 項目（医療検査学科ディプロマ・ポリシー）

DP1 (専門知識)	幅広い教養ならびに臨床検査学あるいは臨床工学の専門的な知識・技術が身につきましたか。
DP2 (課題解決)	課題を発見し、科学的根拠に基づいた思考と判断により解決に向けて取り組む力が身につきましたか。
DP3 (多職種連携)	医療プロフェッショナルのあり方や役割を理解し、多職種連携を実践することができる力が身につきましたか。
DP4 (相互理解)	社会におけるチームの一員として相互理解に努めることができる力が身につきましたか。
DP5 (倫理責任)	健康・医療に関わる者として生命の尊さを認識し、倫理観と責任感をもって自らの役割を果たすことができる力が身につきましたか。
DP6 (社会貢献)	健康・医療・生命科学の学びを総合的に活用して多様な社会の課題に取り組むことができる力が身につきましたか。
DP7 (創造力)	ものごとを自由な発想でとらえて科学的な探究と創造的な取り組みができる力が身につきましたか。

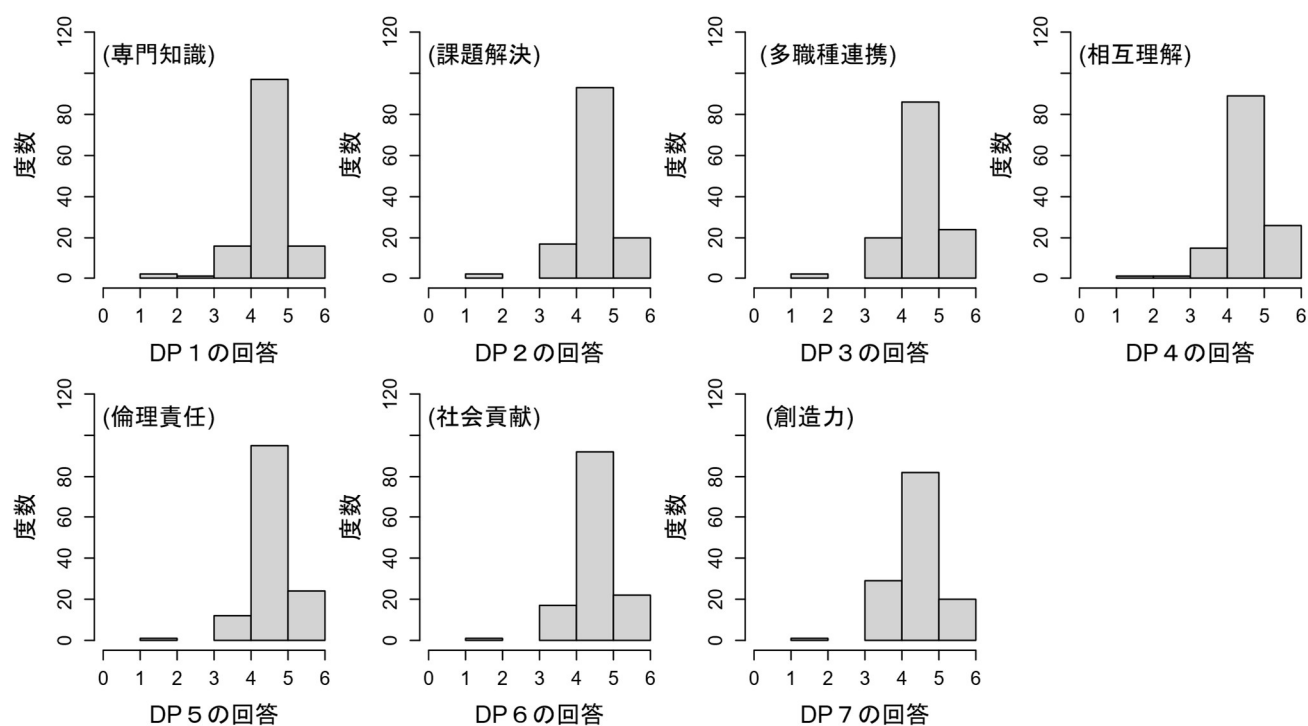


図 4－1. 医療検査学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 回答分布

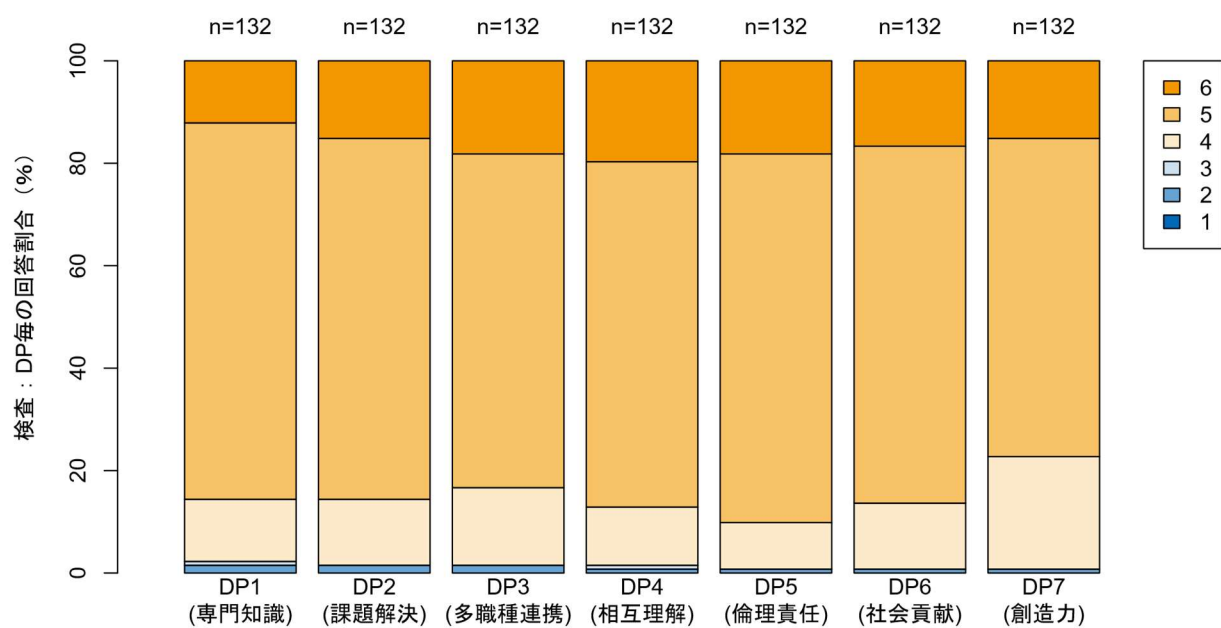


図4－2．医療検査学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 DP 毎の回答割合

表4－3．医療検査学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 基本統計量

検査	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
平均値	4.94	4.98	4.98	5.05	5.07	5.02	4.91
標本SD	0.63	0.64	0.68	0.64	0.58	0.60	0.65
中央値	5	5	5	5	5	5	5
最大値	6	6	6	6	6	6	6
最小値	2	2	2	2	2	2	2
n	132	132	132	132	132	132	132

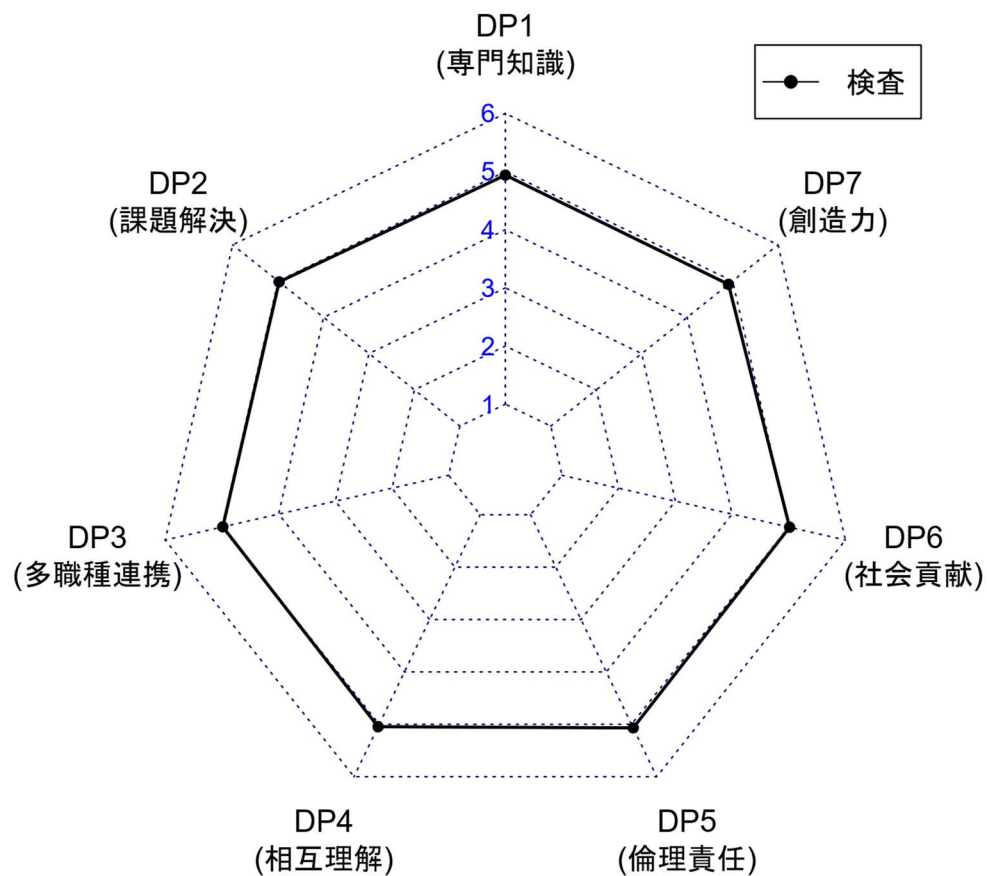


図 4－3．医療検査学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 評定値の平均値

4-2-2) 放射線学科

アンケート調査項目（放射線学科ディプロマ・ポリシー）を表4-4に示す。

2025 年度放射線学科4年生を対象とした放射線学科ディプロマ・ポリシーに対する到達度の自己評価について、DP1～DP7 に対する評定尺度毎の回答結果（卒業生 83 名中 83 件：回収率 100%）のヒストグラムを図4-4に示す。各 DP に対する回答の割合を図4-5に示す。

アンケート回答結果について、簡便に6段階の評定尺度を等間隔の間隔尺度とみなし比較を行った。回答結果について、DP ごとの平均値、標本標準偏差、中央値、最大値、最小値を表4-5に示す。DP1～DP7 について、回答された評定値の平均値をレーダーチャートとして図4-6に示す。

2025 年度放射線学科4年生の放射線学科ディプロマ・ポリシーに対する自己評価は、全ての DP 項目の平均値において「4：最低水準は修得できた」以上の回答が得られた（平均値：4.48～4.70）。また自己評価の中央値は、全ての DP 項目で「5：概ね修得できた」となった。各項目の到達度を見ると、DP5（倫理責任）については「5：概ね修得できた」以上の回答が69%以上、DP6（社会貢献）については68%以上、DP4（相互理解）については65%以上となった。一方で、DP1（専門知識）については約57%、DP2（課題解決）については約55%に留まり、他の項目に比べて肯定的な評価の割合が低くなる傾向が見られた。また、DP1（専門知識）では「3：ある程度修得したが、最低水準には届かない」とする自己評価の割合が約15.7%と、全ての項目の中で最も多くなった。

表4-4. アンケート調査の DP 項目（放射線学科ディプロマ・ポリシー）

DP1 (専門知識)	幅広い教養ならびに放射線技術学に関する基礎的および専門的な知識・技術が身につきましたか。
DP2 (課題解決)	課題を発見し、科学的根拠に基づいた論理的な思考と判断により解決に向けて取り組むことができる力が身につきましたか。
DP3 (多職種連携)	医療プロフェッショナルのあり方や役割を理解し、多職種連携を実践することができる力が身につきましたか。
DP4 (相互理解)	社会におけるチームの一員として相互理解に努めることができる力が身につきましたか。
DP5 (倫理責任)	健康・医療に関わる者として生命の尊さを認識し、倫理観と責任感をもって自らの役割を果たすことができる力が身につきましたか。
DP6 (社会貢献)	健康・医療・生命科学の学びを総合的に活用して多様な社会の課題に取り組むことができる力が身につきましたか。
DP7 (創造力)	ものごとを自由な発想でとらえて科学的な探究と創造的な取り組みができる力が身につきましたか。

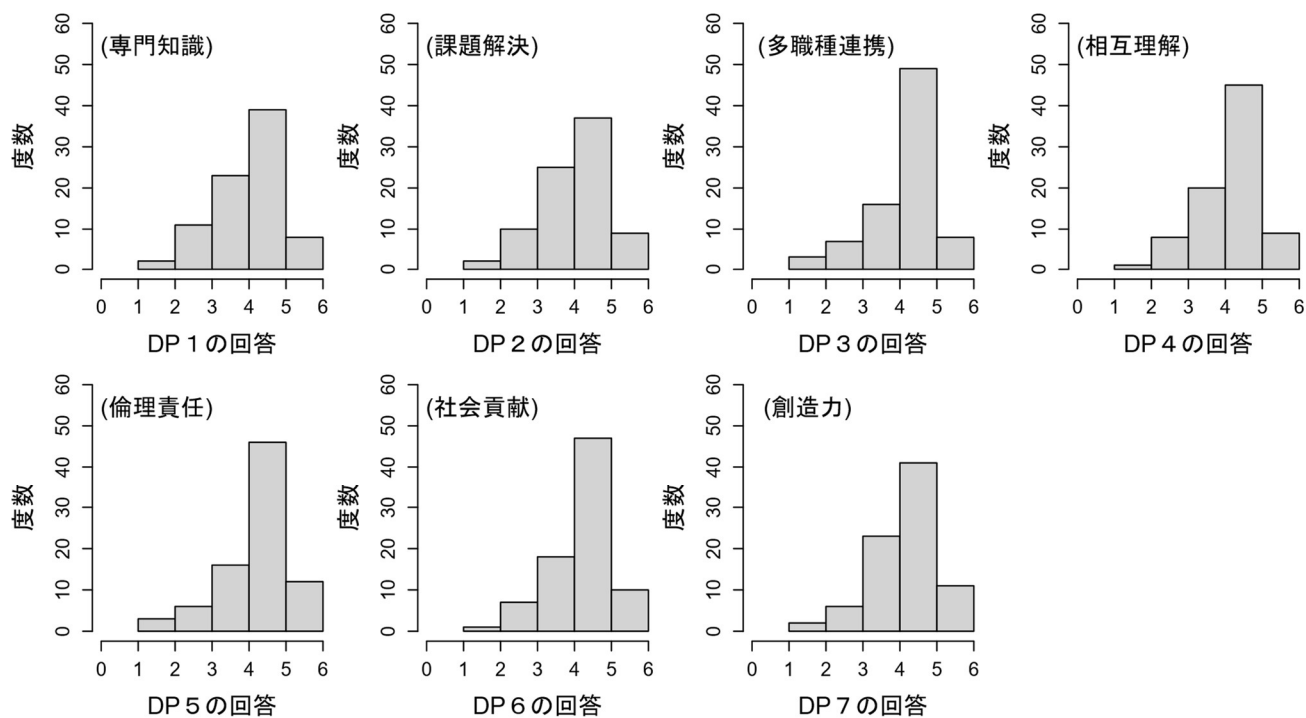


図 4－4. 放射線学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 回答分布

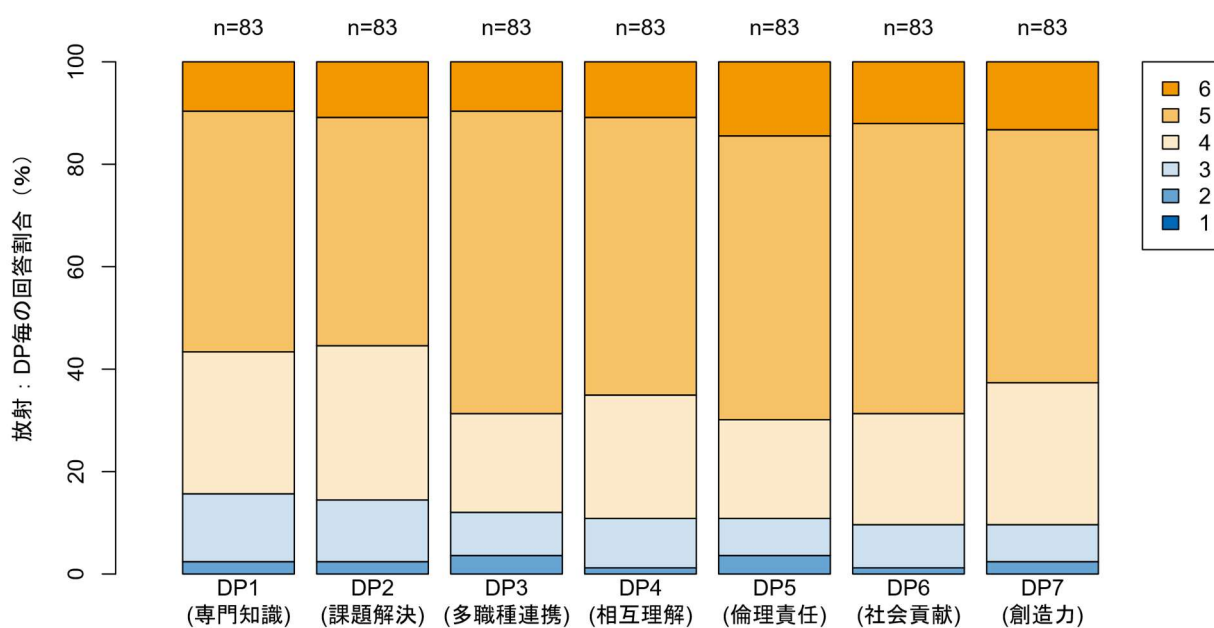


図 4－5. 放射線学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 DP 毎の回答割合

表 4－5．放射線学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 基本統計量

放射	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
平均値	4.48	4.49	4.63	4.64	4.70	4.70	4.64
標本SD	0.92	0.92	0.90	0.84	0.92	0.83	0.88
中央値	5	5	5	5	5	5	5
最大値	6	6	6	6	6	6	6
最小値	2	2	2	2	2	2	2
n	83	83	83	83	83	83	83

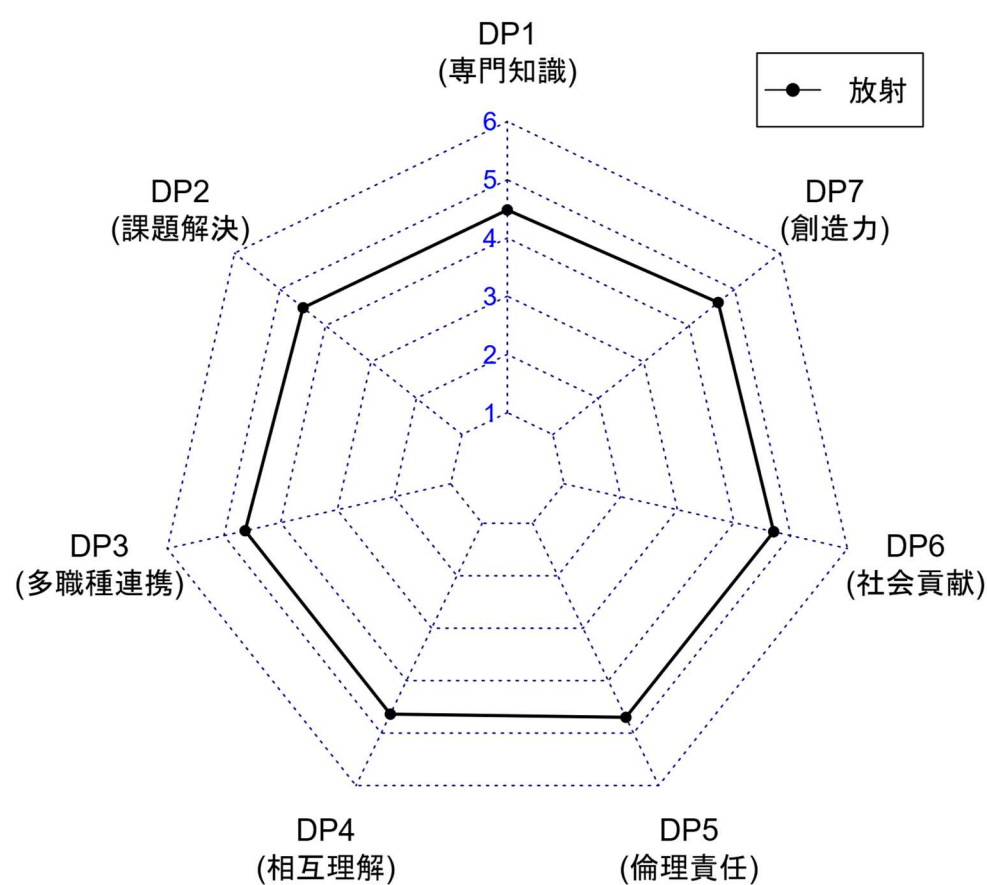


図 4－6．放射線学科ディプロマ・ポリシー到達度自己評価結果 評価値の平均値